伊東一成議員
（匝る風）

産業用地の整備

問 先に行われた住民説明会においては、企業誘致に否定的な意見が目立ったが、今後の計画についてはいかがか。

答 「市長」当日参加者からのアンケート回答では、市の将来のために着実に進めてほしいという意見も多かった。今回いただいた意見により、今すぐに計画を変更することはないが、未来へ夢と希望を持てるまちづくりの一つとして本事業は非常に重要であると考えていることから、今後も関係者の意見をしっかりと聞きながら丁寧に事業を進めていきたい。

問 横芝光町でも先行して同様の計画が進んでいるが本市の優位性は何か伺う。

答 「商工観光課長」本市の強みであり、県内有数の産出額を誇る農林水産業と連携した産業団地の整備を進めることで、地場産業のさらなる振興に繋げていきたい。

脱炭素先行地域について

問 本事業を推進する上で、市が一般財源で負担する費用はあるか伺う。

答 「市長」今年度から令和10年度までの間に13の事業に取り組むものとしている。これらの事業は、国の交付金を頂いて執行することになるが、そのうち市が事業費の一部を一般財源で負担する事業としては、公用車をＥＶ車に更新する事業がある。

タウンミーティングの開催

問 市民が市長と直接意見交換をするタウンミーティングの開催状況を伺う。

答 「秘書課長」今年度は、これまでに5つの団体と懇談会を行っている。

問 タウンミーティングの結果、実現に至った施策はあるか伺う。

答 「市長」市内公共交通機関の改善の意見に対して、本年4月よりデマンド型交通の運行を開始した。また、独自の税外収入の確保について、公共施設のネーミングライツを導入し、現在募集を行っているほか、観光資源周知のためのＳＮＳ活用については、ＬＩＮＥ公式アカウントの導入について準備を進めているところである。

行政改革大綱について

問 令和5年度で計画期間が終わる第4次匝瑳市行政改革大綱の評価について、どのように考えているか。

答 「市長」進捗率は84・6％で、その効果額は、令和4年度末で7億4、500万円となっている。これまでの行政改革の取組により、一定の効果があったものと考えている。

椎名勝英議員
（日本共産党）

利用実態から見るデマンドタクシーの課題

問 自宅（野栄地区）からデマンドタクシーで市民病院に行き、帰宅のため11時20分頃に予約の電話をしたが、「11時15分以降は野栄の浜までは行けない」と断られた事例がある。運行時間は8時～17時（12時～13時は休憩）と聞いているが、利用しやすい制度に改善すべきではないか。

答 「市長」デマンド型交通は一般のタクシーとは異なり、一定のルールの下、運行している。予約は利用予定日の1週間前から利用予定時刻の1時間前まで可能である。運行会社の事業所から遠い地区は指摘のとおり移動に時間がかかる場合もある。

成田空港拡張工事に伴う騒音等への対策は

問 堀川・栢田浜地域は、成田空港離着陸機の騒音（特に北風運用時の到着時）に悩まされている。現在、成田空港は拡張工事を実施中だが、完成後には騒音がもっと大きく多くなると思う。騒音対策について伺う。

答 「市長」これまでに市独自で航空機の騒音測定を実施したことはない。成田国際空港株式会社において、50万回時の予測騒音コンターを公表しており、機能強化後も本市は基準値以下であるため騒音対策の対象地区には含まれていない。

加齢性難聴が認知症の危険因子に

問 厚生労働省は加齢性難聴が認知症の危険因子になると指摘している。市として加齢性難聴者への補聴器購入助成をすべきと思うが、いかがか。

答 「市長」令和5年11月末現在、千葉県内4市でそれぞれ支給要件を設け、加齢性難聴者の補聴器購入助成が行われている。助成制度の創設については、令和4年度に続き今年度も全国市長会から国へ提言が行われている。市としても引き続き、全国市長会等を通じて要望していきたい。今後も、国や県、他市町村の動向を注視し調査研究を行っていく。

有害鳥獣の被害とその対策について

問 匝瑳市内でも有害鳥獣の被害が拡大しているが、その対策を伺う。

答 「市長」農作物被害防止対策として、農業委員会、ちばみどり農協、匝瑳猟友会の関係機関と匝瑳市有害鳥獣対策協議会を組織している。本協議会において策定した匝瑳市鳥獣被害防止計画に基づき、猟友会による銃器を用いた鳥類の捕獲や箱わな等の設置による獣類の捕獲を行っている。

ＱＲコードを読み取ると質問した議員の録画映像が視聴できます。